

〔様式2（汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです）〕

御提案書	
技術分野	① <span style="background-color: #cccccc;">                    </span> （「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います）
御提案件名	汚染水貯留の鋼製タンクの代替案（コンクリート二次製品）
御提案者	株式会社 OZON NEO（オゾンネオ） 代表取締役 中畑 高志
<p>1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）</p> <p>特徴 市販のボックスカルバートと生コンクリートを使い50年間汚染水を隔離する貯留槽として地上に設置、可視化で管理出来る。</p> <p>仕様 内寸2.5m×5mのボックスカルバートの連続設置で無加圧なら100mで1200トンだが、日本国内の市販品のポンプやバルブ弁を組み合わせるだけで100気圧(10Mpa)まで圧力加圧に耐えられるため、100気圧で隔離すると12万トンにまで100mで保管可能になる。</p> <p>性能 現在の汚染水貯留タンクと異なり腐食性に強いコンクリートやステンレスの配管を使用するため強度、寿命が大幅に改善される。万が一、汚染水漏れが生じても再補修も可能であり、0.3キロ平米内に施工すれば1080万トンまで貯留出来る。これは現在問題になっている1日あたり300トンの汚染水の98年分貯留に匹敵する。</p> <p>保有者 特許取得 中畑 高志 国内特許第4936206号 国際特許第5292523号</p>	
<p>2. 備考（以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む） コンピューターの発達による3Dシュミレーションにより設計はすぐ開発出来るが、実績は水族館とか自然水圧設計施工程度だと思います。</li> <li>・開発・実用化に向けた課題・留意点 汚染水貯留問題の逼迫度合にかかっていると思います。 留意点として冬季に凍結するなら何らかの対策が必要と思われる。なお、一旦貯留した後の電力は不要です。</li> <li>・その他（特許等を保有している場合の参照情報等） 特許取得 中畑 高志 国内特許第4936206号 国際特許第5292523号</li> </ul>	